

-当事務所所長 岡本孝則より、新年のご挨拶を申し上げます。-



昨年は4月に事務所創立30周年を迎え、また3月末には著書「今すぐ捨てたい労務管理の大誤解48」の発刊もあり、ひとつの大きな区切りとなった年でした。

取りまく社会情勢・経済情勢は未だ厳しいものがありますが、顧問先の皆様、そして新たにご縁のできた皆様に支えて頂き無事一年を終えることができたことに深い感謝の念を覚えます。

事務所として30年、社会保険労務士として31年を超えた今、これまで受けた信頼をしっかりと心に受け止め、本年は新たな歴史を刻む第一歩の年にしたいと思っております。

私自身も含め事務所職員一同、本年は原点へと立ち返り、今まで以上に顧問企業様はじめご縁を頂いた企業様により良い労使関係を築いていただけるよう、全力を尽くしたいと決意を新たにしております。

事務所の経営理念をご一読いただければ幸いです。

経営理念

私達は、社員を会社の大切な人財と考え、企業様の社風に合った人事・労務に関するご支援を通して、社内において労使間で強い信頼と絆ができ、企業様が永続的に存続し、発展していく事を常に願っています。

その為に、最新の人事・労務情報を絶えず発信し、企業経営に少しでもお役に立てるご提案ができるよう、たゆまぬ努力を続けていきたいと考えています。

ここに表した気持ちこそが事務所創立以来の変わらぬ思いであり、昨年発刊した著書の核となった思いです。

この「経営理念」を胸に職員一同、一生懸命頑張りますので、昨年同様本年もどうぞよろしく願いいたします。

2011年1月

岡本孝則